

会計別予算の収入支出の状況

会計名	予算現額(A)	収入済額		支出済額		
		金額(B)	比率(B/A)%	金額(C)	比率(C/A)%	
一般会計	85億6,467万円	77億9,318万円	91.0	69億7,383万円	81.4	
特別会計	国民健康保険事業	39億4,248万円	34億 259万円	86.3	34億3,776万円	87.2
	下水道事業	15億8,248万円	11億8,725万円	75.0	15億1,158万円	95.5
	老人保健医療	928万円	846万円	91.2	861万円	92.8
	介護保険事業勘定	19億3,468万円	15億 804万円	77.9	17億 767万円	88.3
	介護サービス事業勘定	1,446万円	1,256万円	86.9	1,307万円	90.4
	公共用地先行取得事業	1,640万円	0万円	0.0	1,630万円	99.4
	後期高齢者医療	3億1,900万円	2億2,896万円	71.8	2億5,630万円	80.3
合計	163億8,345万円	141億4,104万円	86.3	139億2,512万円	85.0	

公営企業会計収入支出の状況

区分	予算現額(A)	執行済額(B)	比率(B/A)%	
水道事業	収益的収入	4億4,356万円	4億1,512万円	93.6
	収益的支出	4億3,050万円	4億 653万円	94.2
	資本的収入	5,091万円	5,129万円	100.7
	資本的支出	2億4,000万円	2億2,581万円	94.1
温泉事業	収益的収入	2億3,300万円	2億1,963万円	94.3
	収益的支出	2億3,363万円	2億1,552万円	92.2
	資本的収入	221万円	0万円	0.0
	資本的支出	1億1,200万円	1億 158万円	90.7

基金(貯金)の現在高(3月末)

基金の種類	平成22年3月末残高	町民の皆さん一人当たりの残高
財政調整基金	3億4,719万円	1万2,561円
その他の基金	4億9,199万円	1万7,800円

町債(借金)の現在高(3月末)

会計	平成22年3月末残高	町民の皆さん一人当たりの残高
一般会計	70億1,415万円	25万3,768円
下水道事業特別会計	48億1,790万円	17万4,309円
公共用地先行取得事業特別会計	8,390万円	3,035円
水道事業	30億 451万円	10万8,702円
温泉事業	2億1,046万円	7,614円

※町民の皆さん一人当たりの残高は、平成22年3月31日現在の人口27,640人を使用して算出しています。

基金とは

財政調整基金とは、経済不況による税収の大幅な減少や、災害による思わぬ支出の増加などに備えるためのもので、家庭で言うと、通常の貯金に当たります。

一方、その他の基金とは、まちづくり基金、育英奨学基金などで、特定の目的のために積み立てるお金(貯金)です。家庭で言うと、マイホーム購入資金や子どもの入学資金など、通常の貯金とは別に積み立てる貯金に当たります。

町債とは

町債とは、町が公園や道路、学校をつくる時など、お金がたくさん必要な時にその資金を調達するため、国・県や銀行などから借り入れるお金(借金)のことです。町債を財源とした施設は、長期にわたって利用されることから、町債も将来にわたって少しずつ返済していきます。これは現在利用する方と将来利用する方が公平に負担しあうということです。

町債の現在高(前年同期比)は、一般会計では46万円の増加、下水道事業特別会計では3億4,073万円、公共用地先行取得事業特別会計では1,400万円、水道事業会計では1億2,843万円、温泉事業会計では4,084万円の減少となっており、平成10年をピークに減少傾向にあります。